

令和8年度 第2次募集 選抜・評価方法

学校番号 9

千葉県立千葉北高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	受検者7名・評価者3名の集団面接 検査時間：1グループ15分
(3) 作文	字数：600字以上800字以内 検査時間：50分

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書〔175点満点〕

アの数値に、イについて加点（上限40点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K = 1$ を乗じた数値で評価する。 評定1の教科、未評価の教科のいずれかがある場合は、審議の対象とする。
イ 特別活動の記録、部活動等の記録及び特記事項	生徒会本部役員の場合は加点する。 運動系部活動等の実績については、県大会出場、県大会ベスト8以上、関東大会出場等の段階に応じて、文化系部活動等の場合はそれに相当する実績・受賞等に応じて加点する。 英語検定・漢字検定・数学検定等の取得資格については、特に優れた内容について加点する。

(2) 面接〔20点満点〕

3名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、ア・イについては a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で、ウについては b（問題がない）・c（問題がある）の2段階で評価する。

3名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（ア・イは a a a ~ c c c）（ウは b b b ~ c c c）で得点化する。いずれかの項目において c 評価が2つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	千葉北高校の期待する生徒像を理解し、志望動機が明確である。
イ 質問への受け答え	質問内容を的確に理解し、わかりやすく適切に回答することができる。
ウ 身だしなみ・態度	服装・頭髪等身だしなみが整えられている。 基本的な面接作法が身に付いている。

(3) 各高等学校において別に定める検査（作文）〔20点満点〕

3名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。3名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（a a a～c c c）で得点化する。アの項目においてc評価が2つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 内容	出題の意図が理解できている。
イ 字数	指定された字数に対して過不足がない。
ウ 文章表現	適切な文章表現がなされている。誤字や脱字がない。

3 選抜方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「各高等学校において別に定める検査の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、第2次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

調査書の得点		面接の得点	各高等学校において別に定める検査の得点	総得点
評定	加点			
135点	40点	20点	20点	215点

4 その他

過年度卒業者については、各高等学校において別に定める検査終了後、別途個人面談を行う。